

上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）についての諮問・答申

令和 5 年 7 月 5 日付けで「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）」について諮問があり、令和 5 年 8 月 24 日付けで市長宛に下の答申内容のとおり答申しました。

【諮問】 諮問第 82 号 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について

(文書番号：上地第 17780 号の 6)

【諮問内容】 (1)上越市第 7 次総合計画の策定に伴う変更

(2)上越市第 3 次財政計画の策定に伴う変更

(3)各種統計情報の更新等

【諮問理由】 上越市過疎地域持続的発展計画の計画期間は、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間となっている。

現行の上越市過疎地域持続的発展計画は、上越市の最上位計画である上越市第 6 次総合計画に基づき策定していたものだが、令和 4 年度に上越市第 7 次総合計画や上越市第 3 次財政計画などの主要計画の策定に伴い、本計画において文言の修正等の変更を行うもの。

【答申内容】

令和 5 年 7 月 5 日付け上地第 17780 号の 6 で諮問のあった、諮問第 82 号：上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、下記のとおり意見を付して答申します。

記

上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、地域住民の生活に直接の支障はないものと判断します。

今後も、それぞれの過疎地域が真に望む施策実施や、それに伴う予算計上・執行をお願いいたします。

【市通知（回答）】

過疎地域持続的発展計画変更（案）について計画変更手続きを進めることとします。今後、パブリックコメントを経て、令和 5 年上越市議会 12 月定例会に議案を提出する予定です。

なお、付帯意見について、次のとおり回答します。

(回答)

市では、本計画変更後も引き続き地域の声を把握しながら、地域の皆さんと共に地域の持続的発展に向けた事業の検討を行うとともに、必要な対応を行って行きます。

上越市立吉川地区公民館東田中分館、勝穂分館、泉谷分館 の廃止についての諮問・答申

令和 5 年 8 月 29 日付けで「上越市立吉川地区公民館東田中分館の廃止」「上越市立吉川地区公民館勝穂分館の廃止」「上越市立吉川地区公民館泉谷分館の廃止」について諮問があり、令和 5 年 10 月 19 日付けで市長宛に次の答申内容のとおり答申しました。

【諮問】 諮問第 83 号 上越市立吉川地区公民館東田中分館の廃止について

(文書番号：上教社第 4038 号)

諮問第 84 号 上越市立吉川地区公民館勝穂分館の廃止について

(文書番号：上教社第 4039 号)

諮問第 85 号 上越市立吉川地区公民館泉谷分館の廃止について

(文書番号：上教社第 4040 号)

【諮問内容（各号共通）】 施設の廃止（令和 6 年 4 月 1 日予定）

【諮問理由】 上越市立吉川地区公民館東田中分館、同勝穂分館、同泉谷分館は、施設が老朽化している現状を踏まえ、地域と今後の利活用について協議した結果、地域での利活用が見込まれないことから、施設を廃止することに関し、吉川区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの。

吉川地区公民館東田中分館		吉川地区公民館勝穂分館		吉川地区公民館泉谷分館	
					
所在地	吉川区東田中 175 番地	所在地	吉川区赤沢 1033 番地	所在地	吉川区泉谷 51 番地
設置年度	昭和 30 年度	設置年度	昭和 33 年度	設置年度	昭和 47 年度
施設等	体育館 木造平屋建て 延床面積 319 m ²	施設等	体育館 木造平屋建て 延床面積 298 m ²	施設等	・体育館 鉄骨造一部木造平屋建て 延床面積 374 m ² ・集会室 木造平屋建て 延床面積 70 m ²
設置目的	上越市区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって生活文化の振興及び社会教育の推進に寄与することを目的とする。				

【答申内容】

令和5年8月29日付け上教社第4038号で諮問のあった、諮問第83号：上越市立吉川地区公民館東田中分館の廃止について、下記のとおり意見を付して答申します。

記

上越市立吉川地区公民館東田中分館の廃止について、地域住民の生活に直接の支障はないものと判断します。

（附帯意見）

廃止とする公民館分館は、旧小学校でもあったことから、地域住民の精神的な拠り所であり、地域を象徴する施設としても親しまれています。また、公民館活動を含む地域活動の場としても、これまで、地域の人と人、地域と地域を繋いできた重要な施設であります。

公民館（分館）活動が十分に行われてこなかったことや進む施設の老朽化、人口減少を要因とする使用頻度・使用率の低さなどから、本諮問どおりの施設廃止は止むを得ないと考えますが、住民の活力低下に向かわぬよう、廃止とする分館周辺地域における公民館活動を絶やすことなく、引き続き地域の実情時勢に即したきめ細やかな社会教育の推進をお願いします。

また、廃止後の施設については次の点に配慮いただきますよう、切にお願いします。

1. 安全・防犯面、衛生・環境面に配慮し、廃止後の建物や敷地の適切な管理をお願いします。
2. 分館に併設されているグラウンドについては、今までどおりの使用を許可いただくとともに、使用に先立って除草や清掃などが必要な場合は、可能な限り支援や協力をお願いします。
3. 本諮問のような公民館分館廃止など、公の施設の適正配置計画を進める際には、地域の財政的負担軽減策も併せた施設貸付や譲渡などの具体的な方策を事前に提示いただきますようお願いいたします。

※「諮問第 84 号 上越市立吉川地区公民館勝穂分館の廃止について」「諮問第 85 号 上越市立吉川地区公民館泉谷分館の廃止について」も同内容の答申を行いました。
ただし「諮問第 85 号 上越市立吉川地区公民館泉谷分館の廃止について」の答申は泉谷分館敷地が民地であるため、別記「2. 分館に併設されているグラウンド…」の一文を除いています。

【市通知（回答）】（東田中分館、勝穂分館、泉谷分館ともに同じ内容）

諮問のとおり、上越市立吉川地区公民館東田中分館を廃止することとし、令和5年上越市議会12月定例会に所要の条例案を提出します。

なお、附帯意見に関しまして、当該施設は長年に渡り、地域の人と人、地域と地域を繋いできた重要な施設であったことを認識し、施設の廃止後も適切な管理に努めるとともに、施設周辺地域の公民館活動にも支障がないよう、引き続き地域の実状も伺いながら、きめ細かな社会教育の推進に努めてまいります。

また、公の施設の適正配置計画に沿って協議を進めていくにあたり、今後も地域住民や利用者等からのご意見を伺いながら、適宜適切に対応してまいります。

令和5年度吉川区地域協議会活動状況

※令和5年11月末日現在
※()内は主な議題等

- 4月13日… 勉強会（自主的審議事項（住民アンケートの実施）について等）
- 4月20日… 第1回地域協議会（自主的審議事項（住民アンケートの実施）について等）
- 4月20日… 住民アンケート実施（回答数：1,597人、4月1日区内12歳人口の47.1%）
- 6月15日… 第2回地域協議会（報告事項（公の施設の適正配置に関する動きについて、吉川区における農業の将来ビジョンについて）について等）
- 6月22日… 勉強会（住民アンケートの結果について、アンケート結果の活用方法等の意見について等）
- 7月13日… 勉強会（諮問事項「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」概要説明、道の駅周辺・尾神岳周辺の活性化等について）
- 7月20日… 第3回地域協議会（報告事項（第2次上越市総合公共交通計画・後期計画「吉川区後期再編計画（案）」について、地区別懇談会について、第25回越後よしかわやっただれ祭りについて）、諮問事項（上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について）、協議事項（公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について、地域独自の予算事業の提案等検討について）
- 8月7日… 吉川地区公民館関係者と地域協議会委員との懇談会（自主的審議事項「公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」、吉川地区公民館の事業等について、意見交換）
- 8月24日… 第4回地域協議会（協議事項（「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」の諮問に対する答申について、公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について、地域独自の予算事業の提案等検討について）等）
- 9月21日… 第5回地域協議会（報告事項（上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）に係る答申に対する通知について）、諮問事項「上越市立吉川地区公民館東田中分館の廃止について」「上越市立吉川地区公民館勝穂分館の廃止について」「上越市立吉川地区公民館泉谷分館の廃止について」、協議事項（吉川区地域活性化の方向性（案）について）等）
- 10月12日… 勉強会（報告事項（道の駅よしかわ杜氏の郷の現状等について、吉川区内の地域独自の予算提案状況について）、協議事項（上越市立吉川地区公民館3分館（東田中、勝穂、泉谷）廃止についての諮問に対する答申案、視察研修について、吉川区地域活性化の方向性（案）について）等）
- 10月19日… 第6回地域協議会（協議事項（諮問事項「上越市立吉川地区公民館東田中分館の廃止について」「上越市立吉川地区公民館勝穂分館の廃止について」「上越市立吉川地区公民館泉谷分館の廃止について」に係る答申について、吉川区地域活性化の方向性について）等）
- 11月20日… 視察研修（阿賀野市役所（子育て支援施策、移住定住施策、観光AIオンデマンドバス等））
- 11月20日… 第7回地域協議会（報告事項（令和4年度の吉川ゆったりの郷、吉川スカイトピア遊ランドにおける市及び指定管理者の収支状況等について、吉川ゆったりの郷の利用料金の改定について、上越市立吉川地区公民館3分館（東田中、勝穂、泉谷）廃止についての諮問に係る答申に対する通知）、協議事項（自主的審議事項「公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」の意見書作成について、地域協議会活動報告会・公募説明会について）等）
- 11月25日… 頸北地区地域協議会委員合同研修会（会場：ユートピアくびき希望館、内容：日本の中の上越・頸北）

「吉川区における地域活性化の方向性」を作成しました

地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるにあたり、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図るとともに、市の取組の企画の参考としたいとのことから、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを、各地域協議会において「地域活性化の方向性」として作成しています。

この度、当協議会においても住民アンケートや委員の意見を基に「吉川区における地域活性化の方向性」を作成しました。吉川区の元気維持、元気回復を目指し、これからも地域の皆さんや市とともに取り組んで行きたいと思えます。

吉川区における「地域活性化の方向性」 《吉川区の元気維持・元気回復に向けて》

よろず心配ごとなしに **し**ぜん豊かなこの土地で **か**わることなく **わ**らいあって楽しく暮らせるまち

を目指します。

＜構成要素＞

1. よろず心配ごとなしに … 安心・安全な生活

幸せな生活を送るには「心配ごと・困りごと」は余計なもの。これらが解消されてこそ、まちは元気に向かうと思えます。住民の皆さんの心配ごとや困りごとは何なのかを考え、それらを地域課題として取り上げ、できるだけ解決・解消していけるよう住民の皆さんと一緒に考え、関係機関への働きかけなども行っていきます。

【キーワード・ポイントなど】 ・家の除雪 ・買い物 ・交通手段 ・空き家（過疎化）
・就業の場 ・子育て支援

2. 自然豊かなこの土地で … 豊かな自然を守る

吉川区は多くの人々が認める「自然豊かな地域」です。自然の恵みは、動植物の成長だけでなく、人の心も豊かに育てて行くものだと思います。これからは吉川の魅力の一つとして、守り、生かして行くことが重要です。

【キーワード・ポイントなど】 ・景観 ・尾神岳 ・枝垂れ桜 ・山林（山の恵み） ・尾神そば

3. 変わることなく … 歴史・文化の継承

吉川区には、古くから継承し大事にしてきた歴史や文化があります。これらがすたれ消えてしまうことなく、変わらずに未来へつないでいく責任が、私たちにはあると思えます。地域の誇りとして、また魅力として、地域の歴史や文化を継承していくことが重要です。

【キーワード・ポイントなど】 ・米づくり（農地の管理） ・道の駅よしかわ杜氏の郷
・町田古墳や長峰城跡、大乘寺などの史跡や文化遺産 ・尾神岳スカイスポーツ

4. 笑いあって楽しく暮らせる … 笑い合う、分かりあう

笑う門には福来たる（広辞苑：いつもにこにこして笑い満ちている人の家には自然に福運がめぐって来る。）ということわざがあります。地域全体に笑いが満ちたら、地域は幸福になることでしょう。「心配ごとがなく、安全・安心」で「豊かな自然」と「歴史文化」の中で「変わらず」に生活できたら、心も体も元気になり、自然と「笑う」ことができるのではないかと思います。そして、これを多くの人が共有・共感できたら、笑い合い、楽しく暮らして行けるまちになるのではないのでしょうか。私たちは、多くの人が吉川を愛し、笑い合って楽しく暮らせるまちになるよう、これからは住民の皆さんと一緒に考え、行動して行きます。

【キーワード・ポイントなど】 ・越後よしかわやっただ祭り ・越後よしかわ酒まつり
・若者の定住 ・移住者

【吉川区地域協議会活動状況等】

◆視察研修を実施 ～子育て支援、移住定住策に力を入れる阿賀野市へ～

令和5年11月20日、地域協議会は視察研修を実施し、阿賀野市役所を訪問しました。

阿賀野市は、平成16年4月に旧安田町、旧京ヶ瀬村、旧水原町、旧笹神村が合併してできた人口約4万人・1万3,000世帯の都市です。

現在、子育て環境日本一のまちを目指しており、各種サービスを充実し、妊娠・出産・育児等切れ目のないサポートを行うことができるよう努めるとともに、それをカギとした移住・定住策にも取り組んでおられることもお聞きしました。



↑ 視察研修の様子

また、「良いこと、好きなことは、人に伝えたい。自分の町を好きになって、その好きなところを、子どもたちをはじめ多くの人に伝えられるようになりたいですね」という職員の方の言葉も印象的でした。

協議会では、各委員が「若者移住・定住部会」「高齢者対策部会」「地域づくり部会」に分かれ、それぞれ活動のまとめに入っています。今回の視察研修で学んだことも大いに生かされるのではないかと思います。

◆頸北地区地域協議会委員合同研修会実施

令和5年11月25日、頸城区のユートピアくびき希望館にて頸北地区地域協議会委員合同研修会を開催しました。会場には、吉川区・柿崎区・頸城区・大潟区の地域協議会委員等48名が参加し、上越市教育委員会歴史文化指導監・中西聰さんが「日本の中の上越・頸北～二人のケンシンの視点から～」と題した講演を行いました。

講演では、上越市が東西日本の文化が交差する非常に稀な土地であり、同時に古来から文化レベルが非常に高い土地であったことを誇りに思っており、ぜひとお話しいただくとともに、幾度の市町村合併を経て現在の市域となったが、春日山城本丸跡から望む景色のように、もともとは一つ（頸城は一つなり）であったということをもう一度思い起こしてほしいと、地域の活性化や地域の在り方に繋がる、示唆に富んだお話をいただきました。



↑ 研修会の様子



【編集後記】

地域協議会だより第48号をお届けします。

令和5年は、大雪による国道の通行止めに始まり、川谷地区での土砂災害、渇水・異常高温による農作物への悪影響や鳥獣被害の中に高頻度の「クマ」

出没情報…。自然と共に生きていくということを改めて考えさせられる年でした。

4月に住民の皆さんからご協力いただいた「住民アンケート」や、この度地域協議会で作成した吉川区における地域活性化の方向性でも「豊かな自然」は吉川の魅力の一つです。守って行かなければならないと位置付けています。これからも自然と共生し、吉川に住み続けたいと思います。そして、住み続けたい吉川になってほしいです。

第48号たより編集委員 中村 正三、橋爪 正平、平山 浩子